

## 【緑区】令和 7 年 第 2 回 区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和 7 年 6 月 11 日 午後 3 時 00 分 ～ 午後 3 時 45 分
場 所	緑区役所 4 階 会議室 4 A B
出席者	<p>【座 長】高橋正治 議員</p> <p>【議員：3 名】鴨志田啓介 議員、越久田記子 議員、斉藤達也 議員</p> <p>【緑区：23 名】佐藤康博 区長、村上一徳 副区長</p> <p>安達恒介 福祉保健センター長</p> <p>武規和 福祉保健センター担当部長</p> <p>得能千秋 緑土木事務所長</p> <p>高倉徹 担当部長（緑図書館長） ほかに関係職員</p>
議 題	<p>1 令和 7 年度 緑区運営方針</p> <p>2 緑区に係る予算のすがた（令和 7 年度一般会計当初予算）</p> <p>3 令和 7 年度 個性ある区づくり推進費 執行状況</p>
発言の 要 旨	<p><b>議題 1 令和 7 年度 緑区運営方針</b> (区長説明)</p> <p><b>議題 2 緑区に係る予算のすがた（令和 7 年度一般会計当初予算）</b> (区長説明)</p> <p><b>議題 3 令和 7 年度 個性ある区づくり推進費 執行状況</b> (区長、副区長説明)</p> <p><b>【1 災害に強いまちづくり事業】</b></p> <p>斉藤議員：(6) 外国人（要援護者）に向けた減災啓発事業について、霧が丘で実施していると理解しているが、どのような効果があったのか。</p> <p>江成総務課長：昨年度の秋に、インドの祭り「ディワリ」において防災啓発ブースを出展しました。効果の測定は難しい面もありますが、こうした機会を活用し、地域にお住まいの外国人の方々に防災準備の重要性を知っていただく機会を今後も設けていきたいと考えています。その中で、備蓄品に関する知識や地域防災拠点の場所についても周知してまいります。</p> <p>斉藤議員：外国人コミュニティの中に入り、共に啓発活動を行うことは非常に意義があると考えている。ぜひ継続してほしい。</p>

江成総務課長：今年度は、消防署などと連携しながら啓発活動を実施する予定です。

鴨志田議員：帰宅困難者対策についてだが、アプリ等で検索しても一時滞在施設が表示されないなど、十分に周知されていないのではないか。

江成総務課長：「一時滞在施設ナビ」などを活用し、対象施設の周知を進めてまいります。

鴨志田議員：緑区在勤者への一時滞在施設の周知は進んでいるのか。

江成総務課長：必要な方に確実に情報が届くよう、工夫を重ねてまいります。

佐藤区長：各鉄道事業者とは、こうした事態を想定した訓練を実施しております。今後も引き続き、連携を図ってまいります。

斉藤議員：東日本大震災の経験を踏まえ、鉄道事業者との継続的なコミュニケーションをお願いしたい。

### 【3 交通安全対策事業】

越久田議員：(2)交通安全推進について、前回の区づくり市議員会議で、自転車の交通ルールについて子育て世代への周知をお願いしたが、その後の進捗状況は。

瀬谷地域振興課長：自転車を始めとした交通安全のパンフレットを作成し、保育・教育施設に配布しています。保護者会などで直接説明することで周知を図るとともに、「いっぽ」などの子育て関連施設にも協力を依頼し、配架等を進めてまいります。

鴨志田議員：GREEN×EXPO 2027 開催期間中の交通安全対策について、道路渋滞や生活道路への流入など、検討していることがあれば教えてほしい。

佐藤区長：交通渋滞への懸念については、以前から区連会等で説明を行っており、地域の皆様からのご心配の声をいただいています。現在、関係機関と調整を進めており、全体の整理ができ次第、改めてご説明いたします。

### 【5 暮らしの衛生推進事業】

斉藤議員：薬物乱用防止には各種団体関わっているが、行政主導で情報交換会を開催してほしい。

川崎生活衛生課長：現在、関係団体同士の情報交換の場は設けられておりません。今後、どのような形で連携を図っていくか検討してま

	<p>います。</p> <p>佐藤区長：薬物乱用防止は学校や家庭などでの予防的取組が重要だと感じます。現状について、まずは各関係団体からお話を伺いたいと考えています。</p> <p>越久田議員：ペット同行避難訓練の実施状況およびスターターキットの配布状況について教えてほしい。</p> <p>川崎生活衛生課長：令和6年度は三保小学校でペット同行避難訓練を実施しています。スターターキットは全22拠点中20拠点に配布済みで、今後は使い方の周知と訓練の実施に取り組んでまいります。</p> <p><b>【13 高齢者生きがい推進事業】</b></p> <p>斉藤議員：「健康麻雀」というキーワードを通じて、緑区長杯を行うなど、さまざまな方が交流できる仕組みを検討しているのか。</p> <p>佐藤区長：健康麻雀はコミュニケーションの場としても非常に有効だと考えています。すぐに導入とはいきませんが、状況を確認しながら前向きに検討してまいります。</p> <p>鴨志田議員：65歳から75歳の方々はまだ元気で、「自分は高齢者ではない」と感じている方も多いと思う。緑区としては、この年代をどのように捉えているのか。</p> <p>小川高齢・障害支援課長：老人クラブの加入対象年齢は60歳以上ですが、実際の中心は75歳以上です。若年層が参加しやすい環境づくりも、今後の課題として認識しています。</p> <p><b>【21 読書活動推進事業】</b></p> <p>斉藤議員：緑図書館30周年記念の郷土史展示・講演会について、現時点での予定を教えてほしい。</p> <p>高倉緑図書館長：緑図書館・十日市場地域ケアプラザ・緑ほのぼの荘の3館連携でイベントを開催する予定です。また、「神奈川道」をテーマにした講演も企画しています。</p>
備 考	